

## 第5次亀岡市総合計画（中間まとめ）に係る意見 【基本構想】 特別委員会質疑項目

No.	所管	頁	計画の内容	意見	回答	特別委員会意見(10/21)	特別委員会意見を 受けての修正案
4	企画管理部	3 5 6	「亀岡市を取り巻く社会経済の潮流」と全体	日本全体の社会経済について述べるのも必要かもしれないが、重要なのは本市の課題についての数値やグラフ、図を用いて、現状分析と報告があつてしかるべきと思う。基本計画にはそれぞれ節ごとに現状と取り組むべき課題があるが、全体的なところでそれが記載されていない。	ここでは、亀岡市のまちづくりに影響を与える世界や国における大きな課題を記載しています。 本市の全体的な課題は、人口減少社会の中、今後のまちづくりをどのように考えるかに集約されます。そこで、第1部第4章「亀岡市の人口見通し」において、以下の図表等を挿入する予定としております。 ●【社会動態(転出入)の推移】 ●【年齢別移動状況】 ●【5年前の常住地からみた亀岡市への転入元、亀岡市からの転出先】 ●【就業者・通学者の流出・流入の状況】 ●【昼夜間人口比率等の推移】など	社会経済の潮流というのはそれで良いが、もっと地域の課題というのを盛り込んだ記載にできないか。基本計画の中に書いてあるような課題について、もっと俯瞰的・総合的に書けないか。施策の基本方針について、こういう課題があるから「進めます」という流れにすべきではないか。	構想では、社会経済潮流を踏まえた方向性を示し、基本計画で方向性に基づいた施策を進めるにあたり、各分野の現状と課題を記載しているものです。 →現行どおり
7	企画管理部	9 10	第4章 亀岡市の人口の見通し 1 10年後の定住人口転出超過が段階的に解消され、2030年に転出入が均衡し、かつ合計特殊出生率が1.32から1.8まで向上すると仮定した場合、本市の人口は約81,000人になると推計されます。 2 活力・にぎわいを支える人口施策	1. 8の根拠が不明。なぜ1. 8になるのか説明が必要。人口を81,000人にするための1. 8としか読めない。 合計特殊出生率を1.8まで引き上げることは相当な努力を要すると考えるが、人口設定との関わりで1.8まで引き上げることや、そのための方策が何も書かれていない。これは重要なことだと考えるが、しっかりと記述すべきである。 また、合計特殊出生率が高い自治体の施策をよく研究して市の施策に取り入れる姿勢をもつべきである。	令和元年12月20日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」(令和元年改訂版)の「人口の長期的展望」において、2030年に合計特殊出生率が1. 8程度、2040年に人口置換水準である2. 07まで回復するならば、人口減少に歯止めがかかり、定常状態(人口規模及び構造が安定する状態)になると長期的な見通しを示されております。 この見通しに基づき、人口減少に歯止めをかける考え方として2030年に合計特殊出生率1. 8を仮定値として設定しております。 また、市民ニーズを踏まえ、子育て世代が安心して子どもを育てられる環境づくりに努めてまいります。	●合計特殊出生率1.8というのが、向上の努力をしたうえで達成される数値ということをし、しっかり説明したほうがよいのでは。「仮定した場合」ではなく、「向上の努力をした場合には」という記載で1.8を掲げるなどの検討を。 ●コロナ禍において、来年度の出生率は戦後最低になるのではとされている。見直しの検討も必要ではないか。今後、この1.8をどう見るか審議会でも検討いただければ。	「10年後の定住人口」の図表1の説明文に1.8の根拠を加筆します。 【別紙のとおり】
10	企画管理部	1 2	第1章 目指す都市像 人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡	●目指す都市像として掲げている「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」は、わかりにくい。 ●市民参加と住民自治に則って目指す都市像を形成していく趣旨の文言を、SDGsの趣旨からして、総論的なこの部分で追加記述すべきである。 ●「リーディング」の語源の「lead」には、ある者が他の者を導くという他動詞の意味と、ある者が自ら秀でるという自動詞の意味がある。本市が他の市町を導くという意味に解されるおそれがあることに違和感を持つ。審議会の検討を経てこの表現にされた経緯を尊重するとして、また第1章の文章は全体として自動詞の意味で「リーディングシティ」と言っていると理解できるが、その意味をより明確にするように文言を補強するのがよい。	●「目指す都市像の意図」に記載しています、良好な暮らしの環境や安全・安心の確保、定住・交流の促進など、あらゆる分野で時代をリードする新たな取組に挑戦しながら、輝かしい未来を切り拓いていく本市のまちづくりに取り組んでいく姿勢を表現しております。 ●「2 計画の性格」(P1)で「市民の参画と協働による計画」、「市民の視点に立った、わかりやすい計画」、「市民ニーズを踏まえた重点課題を戦略的に取り組む計画」として、基本構想の冒頭に明記しております。 ●先導的な取組に関しては、他動詞の意味となります。全体的な市の姿勢としては、自動詞の意味となり、双方を合わせ持った意味となります。	●リーディングシティというのが分かりにくい。別に亀岡ならではということなら、日本一とか、そういう表現でも良かったのでは。分かりやすい言葉に直す可能性はないのか。日本一を目指すとしても結果的には同じところなので、リーディングという表現を中にもっていてもよいのでは。 ●この都市像が本当に市のあるべき姿かというのは個人的には思っている。	【目指す都市像の意図】に加筆します。 【別紙のとおり】

No.	所管	章節	節名	ページ	計画の内容	意見	回答	特別委員会意見(10/22)	特別委員会意見を 受けての修正案
31	生涯学習部	第1章 第2節	男女共同参画	6	男女共同参画的マイノリティの支援と理解の促進意識啓発について	この問題は、市民の理解を求めるにあたってはなかなか難しい、十二分でも足りない。性の多様性を理解してもらうためには、幅広い講演やコミュニケーション、イベントなどでアピールをしていかなければ中々市民には理解されない問題である、今後、移住定住にもつながるように考える。	性的マイノリティの方々が直面している課題を解消していくためには、パートナーシップ宣誓制度の取組だけでなく、併せて職員研修や市民啓発なども行い、広く社会全体が、性的マイノリティの方々の置かれている現況について十分理解し、受け入れていくことが非常に重要です。それに伴い、移住定住についても取組を行っていきます。	このことは難しい問題。今回は十二分に書いてもらっている。移住定住についても取り組むとしている。今後どういう風にやっていくかというのはもっと検討しないといけない。亀岡市はなかなかオープンにできないまちなので、オープンにできるような、柔軟くもっていけるような文面であったり、そういう環境づくりの方向で考えてもらえたら。一言でなかなかどうこう言えるところではないが、やさしく文言でも考えてやってもらいたい。これをどうしろあしろろというのはないが、難しくすると殻を破れない世界なので、そういうところをいろいろ研究しながらやってもらえたら。	
43	総務部	第2章 第3節	交通安全・防犯	17	3 防犯力の向上 防犯環境の充実、公衆街路灯を整備します。また電気代やLED化の助成など。	防犯カメラ設置の費用助成など、今後の支援枠の増加、支援期間延長、地域拡大等。 防犯カメラ・ドライブレコーダーなどによる市民の協力・連携なども記述すべきでは。	(下記のとおり追記)  <b>防犯・暴力追放活動の推進</b> セーフコミュニティ防犯対策委員会を中心に市民との協働で防犯カメラ、ドライブレコーダーなどによる「まちの見守り体制」の充実を図るとともに、犯罪の傾向に応じた対策を実施します。また、亀岡市暴力追放協議会が中心となり、あらゆる暴力を排除する活動を推進します。	防犯力の向上のところで、助成について追記いただければ。  <b>防犯環境の充実</b> 自治会などの要望に基づき、危険度・緊急度の高いものから公衆街路灯を整備します。また、電気代やLED化、防犯カメラなどの費用助成など、適切な維持・管理を支援します。	(下記のとおり追記)  <b>防犯環境の充実</b> 自治会などの要望に基づき、危険度・緊急度の高いものから公衆街路灯を整備します。また、電気代やLED化、防犯カメラなどの費用助成など、適切な維持・管理を支援します。
56	健康福祉部	第3章 第4節	地域福祉	27	生活保護の適正な実施	「生活保護の適正な実施」の項目において、相談者・利用者の実情を理解し、その権利を尊重して、適正に運用する趣旨を追記すべきである。	「適正な実施」という文言に、相談者・利用者の実情を理解し、その権利を尊重する旨を含んでいます。	今の記載のままでは市民を守る立場の市としては印象が悪い。制度の適正運用という箇所を、生活保護法の人権保護の精神に触れた記載にするなど検討しては。	<b>生活保護の適正な実施</b> 収入調査や資産確認、定期訪問を通じ、制度の適正運用に努めます。  ↓(以下のように修正します)  <b>生活保護の適正な実施</b> 相談や定期訪問により、利用者に寄り添った支援に努めるとともに、生活保護法に基づく収入資産調査等を通じ、生活保護制度の適正な運用に努めます。  <b>求職・就労の支援</b> 生活保護制度の利用者に対し能力に応じた求職活動、就労を支援します。
60	教育部	第4章 第1節	学校教育・就学前教育	32	学校図書館の充実への支援 司書の定期派遣や巡回派遣により、...	京都の中でも最も遅れている学校司書配置の状況があるのに、こんな記述(左記)は恥ずべきことである。削除されたい。 (「段階的に」という言葉を入れてもよいが、)「学校司書を配置し、学校図書館の充実を支援します。」という文章で締めくくこと。	社会教育分野の図書館が学校図書館とかかわりを持ち、司書を派遣して助言などの支援を行うことは、図書館連携推進の観点から一定の意義があると考えております。 学校司書については、教育課題への緊急度・優先度などを考えながら検討しておりますが、当面の間、学校司書配置することは考えていないため、配置について明記することは考えておりません。	司書の定期派遣からはじめるのではなく、司書に関して記載するならば、文中にもってきてはどうか。	<b>学校図書館の充実への支援</b> 子どもたちの自発的、主体的な学習を支え、読書活動を促せる環境を整備するため、学校と連携して蔵書整備や司書の派遣などにより、学校図書館の充実を図ります。
61	教育部	第4章 第1節	学校教育・就学前教育	32	中学校選択制デリバリー弁当の充実	○中学校給食実施と明記すべきではないか。 ○「中学校選択制デリバリー弁当の充実」の項目に代えて、平成30年12月議会の意見書や従前の教育長答弁の趣旨を踏まえて、中学校の現行のデリバリー弁当から完全給食への移行を目指す趣旨を記述すべきである。	令和元年5月から導入した中学校選択制デリバリー弁当を充実させ、さらに生徒・保護者の意見を聞く中でより利用しやすくなるよう改善に取り組むべきと考えています。	平成30年12月議会の議会の総意としての意見書を踏まえて記載を変えるよう検討してほしい。	<b>安心して食せる中学校昼食の充実</b> 生徒や保護者、学校などの意見を踏まえ、地元産食材の利用によるメニューの改善や食物アレルギーに関する情報の収集及び研究に努め、選択制デリバリー弁当の充実に取り組めます。中学校給食の在り方についても、調査・研究します。

No.	所管	章節	節名	ページ	計画の内容	意見	回答	特別委員会意見(10/22)	特別委員会意見を 受けての修正案
66	生涯学習部	第4章 第3節	スポーツ	39		全般に記述が貧弱である。文化活動と並ぶ市民要求の一つであるので、細部にわたって方策を提示されたい。特に、施設の種類・条件整備は一切ない。	<b>「亀岡まるごとスタジアム構想」の策定と推進</b> 亀岡の豊かな自然の中で、多様なスポーツやアクティビティ(山や川などの自然を活かしたアウトドア体験型レクリエーション)を体験することのできる環境を整備するため、「亀岡まるごとスタジアム構想」を策定します。構想の推進を通じて、市民の健康増進、体力増強やQOL(生活の質)の向上を図るとともに、スポーツやアクティビティを地域資源として活用し、様々な産業と連携させることにより、体験型観光の振興、地域経済の活性化や移住定住者の拡大につなげます。	QOLについて、表現を工夫してほしい。	<b>「亀岡まるごとスタジアム構想」の策定と推進</b> 亀岡の豊かな自然の中で、多様なスポーツやアクティビティ(山や川などの自然を活かしたアウトドア体験型レクリエーション)を体験することのできる環境を整備するため、「亀岡まるごとスタジアム構想」を策定します。構想の推進を通じて、市民の健康増進、体力増強など、生活の質の向上を図るとともに、スポーツやアクティビティを地域資源として活用し、様々な産業と連携させることにより、体験型観光の振興、地域経済の活性化や移住定住者の拡大につなげます。
67	生涯学習部	第4章 第4節	文化芸術・歴史文化	40	芸術にふれる機会の充実と文化活動の支援	霧の芸術祭をハブとした取り組み以外はしないような記載になっているのではないか。この項の記述も不十分である。文化活動をどのように支援していくのか？見えてこない。	前半の霧の芸術祭をハブとした取り組みと、後半の市民の文化活動に対する支援とで記述を分け、霧の芸術祭以外にも取り組んでいくことがわかるように記載し直しました。また、文化活動に対しての具体的な支援策も追記しました。  修正後: <b>芸術にふれる機会の充実と文化活動の支援</b> 「かめおか霧の芸術祭」をハブに、他の文化芸術団体や活動とも連携しながら、市民が身近に芸術にふれる機会・創作活動を体験できる場を創出するなど、文化振興を推進します。また、文化活動の発表の場の創出や情報発信への支援などを通じて、市民の文化活動を促進するとともに、芸術の創造性を市の施策に活用して魅力あるまちづくりを推進します。	タイトルを「文化芸術にふれる機会の充実…」へ変更し、霧の芸術祭を後半に持ってきた記載にしています。	<b>文化芸術にふれる機会の充実と活動の支援</b> 市民が身近に文化芸術にふれられる機会や創作活動を体験できる場を創出するとともに、文化芸術活動を発表できる場の創出や情報発信などを支援します。また、「かめおか霧の芸術祭」をハブにあらゆる分野の団体や活動と連携しながら、芸術の創造性を活かして魅力あるまちづくりを推進します。
75	企画管理部	第8章 第2節	財政運営	78	持続可能な財政運営	持続可能な財政運営を推進するためには、財政状況への市民理解を深めるための情報公開と啓発が必要である、市民が理解できるわかりやすい広報により存続事業の更なる見直しを進め、市債発行を抑制して後年度に負担がない持続可能な財政運営を進める。	下記のとおり修正します <b>【施策の方向性】</b> 後年度に過度な負担が生じないよう持続可能な財政運営を推進します。 <b>既存事業の見直しの推進</b> 市債発行額の抑制や経常的な経費の節減、新たな事業を始める際にはスクラップ・アンド・ビルドの考え方をもとに既存事業を見直すなど、効率的な事業実施を徹底することで、持続可能な財政運営を推進します。 <b>わかりやすい財政状況の広報</b> 財政状況への市民理解を深めるため、予算や決算などの財政情報についてわかりやすい広報を推進します。	・広報に努めます等、積極的にしていくという書き方ができないか。 ・スクラップアンドビルドについて、強く打ち出すような書き方ができないか。	下記のとおり修正 <b>既存事業の見直しの推進</b> 市債発行額の抑制や経常的な経費の節減、新たな事業を始める際にはスクラップ・アンド・ビルドを基本に既存事業を見直すなど、効率的な事業実施を徹底することで、持続可能な財政運営を推進します。 <b>わかりやすい財政状況の広報</b> 財政状況への市民理解を深めるため、予算や決算などの財政情報についてわかりやすい広報に努めます。
		第8章 第1節	行政運営	75				もう少し積極的にやっていくというような書き方ができないか。  <b>公共施設の最適化の推進</b> 「公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設などの効果的な活用・再編と効率的な維持管理を推進します。	<b>公共施設の最適化の推進</b> 「公共施設等総合管理計画」に基づき、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるため、公共施設などの効果的な活用・再編と効率的な維持管理を推進します。
		第8章 第2節		77 78				タイトルを徴収ではなく、納税など、市民に配慮した書き方ができないか。また、分納相談など市民に寄り添った記載内容にできればいいと思う。ここはこだわるところではないが。  <b>2円滑な課税・徴収の推進</b>	<b>2円滑な課税・納税の推進</b>